

《企業紹介》

同社は 1993 年に設立され、ベトナムの情報通信インフラの構築に黎明期から深くかかわってきた実績を有する、ベトナムの大手情報サービス企業である。戦略的パートナーシップを確立している世界的な情報技術企業（マイクロソフト、SAP、オラクルなど）と協力して、世界最高水準の技術に裏打ちされたサービスを提供している点が強みとなっており、顧客はベトナム政府および政府系機関、大手製造業、ベトナムの大手金融機関などが中心となっている。なお、サムソン SDS（韓国のサムソングループにおける情報サービスの中核企業）が同社の筆頭株主（保有比率 19.9%）となっており、サムソングループと取引関係にあるベトナム企業向けの管理システム導入で協業している。

《2025 年 10-12 月期業績》

2025 年 10-12 月期の売上高は前年同期比 11.3%増の 2.5 兆 VND（ベトナムドン）だった。詳細の発表はないものの、成長ドライバーとして位置付けている日本や韓国での IT サービスの売上高が引き続き牽引役となったようである。日本や韓国では IT 人材の不足が深刻になっており、同社の IT サービスに対する潜在的な需要は大きいとみられる。また、ベトナム国内においても、積極的なデータセンター投資を強みとして政府のデジタルトランスフォーメーションや AI（人工知能）活用推進のサポートなどが売上高を押し上げたとみられる。国際的なハイテク企業のベトナム進出が増えていることも増収に貢献したと考えられる。

粗利益率が同 0.4%ポイント上昇の 19.8%となったため、粗利益は同 13.6%増の 5,065 億 VND となった。販売費が同 3.1%減の 1,299 億 VND と減少したが、金融収支の悪化や一般管理費が同 33.4%増の 1,667 億 VND となったことにより営業費用が同 16.3%増の 3,112 億 VND と、粗利益の増加を上回ったため、営業利益は同 9.5%増の 1,954 億 VND となった。税前利益は同 11.5%増の 1,950 億 VND、純利益は同 6.3%増の 1,345 億 VND となった。海外市場の開拓が順調に進み、国内での存在感も高まっているため、売上高の拡大基調が続いている。技術や人材への先行投資負担が重いものの、利益水準も緩やかではあるが向上していることが四半期決算から観測できる。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	2,303.2	8.8	1,881.4	14.1	2,210.1	23.2	2,420.1	10.8	2,563.1	11.3
粗利益	446.0	9.7	373.7	12.3	390.7	15.1	419.8	28.0	506.5	13.6
粗利益率(%、%ポイント)	19.4	0.2	19.9	-0.3	17.7	-1.3	17.3	2.3	19.8	0.4
営業費用	267.5	12.5	249.6	-3.4	254.9	13.2	282.1	17.9	311.2	16.3
（うち金融収支、マイナスは受取超過）	15.4	-	-14.8	-	-4.4	-	-6.1	-	33.6	-
（うち販売費）	134.0	10.0	131.5	-6.5	132.9	10.6	140.8	7.2	129.9	-3.1
（うち一般管理費）	125.0	-2.5	146.4	8.8	137.8	17.8	158.1	25.1	166.7	33.4
営業利益	178.5	5.6	124.1	66.5	135.8	18.7	137.8	55.3	195.4	9.5
税前利益	174.9	0.4	128.2	66.3	135.8	20.7	137.3	54.4	195.0	11.5
純利益	126.6	-2.7	80.8	85.8	94.2	13.1	86.8	42.2	134.5	6.3

出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260218

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

CMCテクノロジーグループ(CMG)

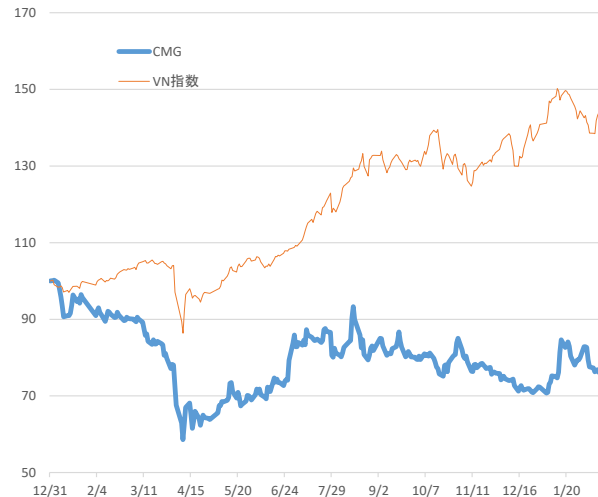


《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を 2024 年 12 月の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は、2025 年の年初から VN 指数に対してアンダーパフォームを続けている。VN 指数の上昇トレンドに対し、下落基調が続いているため、2 月 13 日時点の 2024 年末比変動率は VN 指数が 44% の上昇となっているのに対し、同社は 24% の下落となっている。2 月 13 日終値 34,100VND ベースの時価総額は 7.9 兆 VND で、これは 2025 年 3 月期実績の純利益 3,495 億 VND の 23 倍となっている。

足元の業績は緩やかな拡大基調を維持しており、この基調が継続する可能性も高いと考えられるが、これまでの決算で示された実績が投資家の期待に届いていないことが株価パフォーマンスの足枷になっている可能性がある。海外の IT 企業や大手データセンター企業との競合についての懸念もあるだろう。引き続き同社の業績動向とニュースフローに注意しながら、株価パフォーマンスの転換時期を見極める局面が続くと思われる。

図表2 株価推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260218

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。